

＜製造技術編＞

技術・知恵の継承を成功させる戦略と方法

経験・勘など・・・

職人の技術・知恵の暗黙知をいかに次世代に引き継ぐか？

健康寿命が延び、雇用延長・再雇用などの制度も中小企業で取り入れられるようになり、製造現場では長く働く方が増えています。

しかし一方で、「自社のキーとなる技術が下の世代に受け継がれていない」という、先々に影響を及ぼす重要課題が先送りになっている企業も少なくありません。

「熟練者のそばで若手を働かせていれば、自然に育つだろう」と言う方も時折おられますが、“教え方が分からない”“自分の仕事なくなるかもしれない不安を感じる”熟練者や、“自分に何が足りないか分からない”そもそも“技術を継承していこうという意欲が無い”若手技術者も多く、技術やノウハウを継続的に受け継ぐには、相当の時間が必要になります。

では、技術継承を上手く進めている企業はどのような工夫をしているのでしょうか？

そして、どのように取り組んでいけば良いのでしょうか？

多数の現場を指導してきた講師が、その共通項から見える技術継承のポイントを解説します。

日時 平成 **30** 年 **2** 月 **26** 日 (月) 13:30～16:30

場所 「山口グランドホテル」(山口市小郡黄金町1-1 TEL 083-972-7777)

定員 **50**名 【対象】経営者・経営幹部・後継者、組合役職員・青年部 【受講料】無料

講師 奥村 治樹 氏 (ジャパン・リサーチ・ラボ 代表)

申し込み 裏面の申込用紙により 2月5日(月)までにお申し込み下さい。

お問い合わせ 山口県中小企業団体中央会 (担当: 小倉、田中)

山口市中央四丁目5番16号 山口県商工会館6F

☎083-922-2606 / FAX 083-925-1860



セミナーの内容

◆技術継承の本質と目的

- ・なぜ技術継承は難しいのか
- ・技術と技能の違い
- ・技術の資産化とは

◆継承を成功させる戦略と準備

- ・経営戦略との整合をとる
- ・期限と時間の確保と優先順位
- ・人材構成を考慮した継承の方法

◆技術継承の課題とキーポイント

- ・継承と引継ぎの違い
- ・渡す側の心理、受ける側の心理

◆技術継承の方法とポイント

- ・継承のための基盤づくり
- ・技術・知恵の可視化と情報化
- ・正しいOJTの進め方
- ・継承のためのコミュニケーション

16:05～16:30 「計画的事業承継の進め方」

(独)中小企業基盤整備機構中国本部

事業承継コーディネーター 酒井 健次氏



【講師プロフィール】

奥村 治樹（おくむら はるき）氏

ジャパン・リサーチ・ラボ 代表

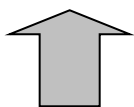
大手メーカー数社にて各種材料の研究開発・表面処理技術開発や開発コンサルティングに従事した後、化学系ベンチャー企業に入社。研究開発マネジメントや知財管理、事業戦略策定、研究員採用などに携わる。

その後、独立し、ジャパン・リサーチ・ラボを設立。技術や分析・評価コンサルティングに留まらず、新規事業・商品企画から研究開発推進、人事制度構築や人事教育など人材育成、現場の課題解決・改善など、中小企業から1部上場企業まで支援を続けている。講演活動も積極的に行っており、経営と技術の両側面からアプローチできる講師として活躍している。

平成29年度事業承継セミナー

＜製造技術編＞
技術・知恵の継承を成功させる戦略と方法

受講申込書



申込先 山口県中小企業団体中央会 連携支援第二課

FAX 083-925-1860

この申込書を直接FAXして下さい。

【申込期限：平成30年2月5日（月）】

（組合名・会社名）

（連絡先）TEL

FAX

e-mail

@

役職名	氏名	個別相談
		希望する・希望しない
		希望する・希望しない
		希望する・希望しない

【個別相談を希望される方は内容をご記入下さい。】

※ご記入頂いた情報は本会からの各種連絡・情報提供のためにのみ利用致します。